

令和8年6月2日  
北九州市産業経済局

北九州学術研究都市  
開設以来初！

報道機関各位

## 台湾の半導体設計企業「先晶方科技有限公司」が研究拠点を開設！ ～フィジカルAI半導体の鍵を握る「チップレット設計」で産学官連携を加速～

台湾・新竹に本社を置く半導体設計企業「先晶方科技有限公司」の日本法人「先晶株式会社」が、令和8年4月、北九州学術研究都市に研究拠点を開設しました。

台湾の半導体企業が北九州学術研究都市に拠点を構えるのは開設以来初めてであり、北九州市の「G-CITY戦略」に基づく、誘致活動等の取り組みの成果です。

同社は、半導体受託製造で世界シェア1位を誇る TSMC の、厳格な要求水準に対応できる技術をもち成長を続ける企業です。特に、「チップレット設計技術」は、極めて希少性が高い専門技術であり、次世代半導体の要として注目されています。

北九州学術研究都市に集積する光電融合やテラヘルツ検査等の知見との産学官連携により、3DIC(半導体3次元実装)や次世代半導体分野における研究開発や人材育成等により、サイエンスパークの構築を加速させます。

ぜひ、取材方よろしくお願いたします。なお、取材については随時受け付けておりますので、ご希望される場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

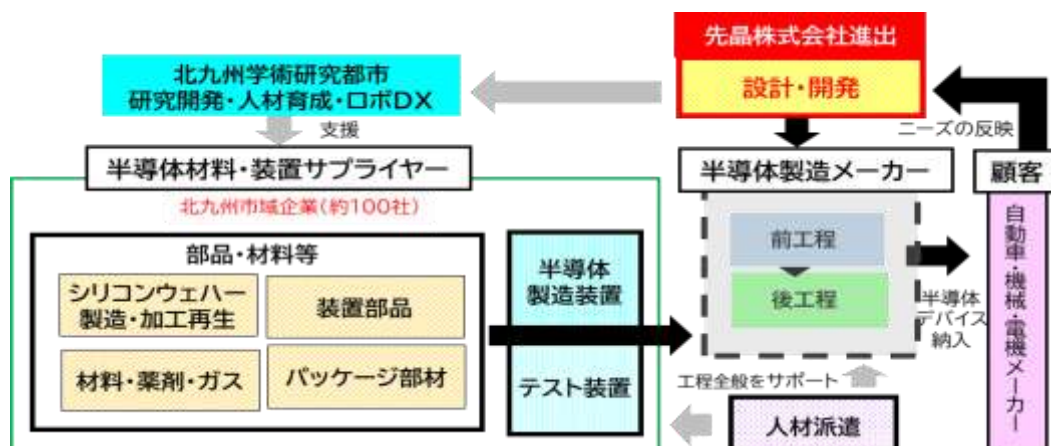
記

### 1 研究拠点の概要

- (1) 開設日 令和8年4月1日(水)
- (2) 場 所 北九州学術研究都市 事業化支援センター(4号館)  
(北九州市若松区ひびきの1番8号)
- (3) 事業内容

同社は、半導体の「設計工程」を担う企業であり、新拠点では以下に取り組みます。

- ・ チップレット設計技術の研究開発
- ・ 光電融合(※1)・テラヘルツ検査(※2)など大学研究シーズとの共同研究
- ・ 先端チップレット技術に関する人材育成・教育連携



## 2 企業概要

会社名	先晶方科技有限公司(Advanced Chiplets Technology Ltd)
設立	2021年7月 ※先晶株式会社の設立は 2025 年 8 月
代表者	傅宗民(フー・ゾンミン) ※先晶株式会社も同様
本社所在地	台湾・新竹
拠点	台湾・台北、高雄、シンガポール、福岡市
事業内容	半導体設計サービス、半導体サプライチェーンのターンキーソリューション(設計から量産までをワンストップで提供)等

## 3 先晶方科技有限公司(先晶株式会社)と北九州市とのこれまでの関わり

北九州市が「G-CITY 戦略」に掲げる海外企業との連携強化、及び産学官連携機能の強化に基づき、以下の戦略的な誘致活動を展開。

- (1) 令和7年9月: 「セミコン台湾2025」に北九州市が初出展。北九州市のブースに傅(フー)代表が来場され、交流を開始。
- (2) 令和7年12月: 学術研究都市「先端半導体技術セミナー2025」に傅代表が参加。北九州半導体ネットワークにも加入。
- (3) 令和8年2月: 「第5回北九州半導体ネットワーク総会」に傅代表が参加。北九州市の投資環境をPRするとともに、学術研究都市の研究シーズを紹介。
- (4) 令和8年3月: 早稲田大学大学院北九州キャンパスを傅代表が訪問。研究者との意見交換を実施。



### 【武内市長コメント】

先晶株式会社の北九州学術研究都市への進出を心より歓迎いたします。フィジカルAI半導体の鍵となる技術を持つ同社の参画は、北九州市の半導体サプライチェーンを強化し、サイエンスパークを構築する「G-CITY戦略」の成果です。

今回の拠点開設により、学術研究都市が強みとする光電融合やテラヘルツ検査などの研究力と同社の設計力が融合します。新たなイノベーションと次世代産業を担う人材を生み出し、日本の半導体産業を支える都市として成長してまいります。

※1:光と電気をチップ内で一体化することで、通信の高速化や低消費電力化につながる技術。

※2:テラヘルツ波という特殊な電磁波を使い、チップ内部を非破壊で可視化する検査技術。

### 【問合せ先】

産業経済局 未来産業推進課  
担当:福田(課長)、安藤(係長)  
TEL:093-582-2905